

▶▶ 株式会社モスト

新設備導入による生産性向上と 工場ネットワーク化、短納期生産体制の確立。

モストは地元岡山県内向けを中心にオーダーメイドの建築金物を製造、一部施工まで手がける。得意とするのは超短納期やステンレス製の金物。金属板に穴開け加工するタレットパンチプレス（タレパン）は必要不可欠だが、製造から30年を経た旧型機を使い続けていた。2017年、補助金を受けて最新鋭機に更新し、品質と効率を大幅に高めることができた。

会社概況

建築金物、ステンレスや超特急品で特色出す

モストは山本英樹社長が31歳の時に創業した。父親が経営していた建築金物の会社が経営破綻し、負債を背負ってのスタートだった。中学生の頃から父親の工場で溶接作業を手伝っていた山本英樹社長。オーダーメイド品やステンレスの金物、最短で受注したその日のうちに製作、発送する超短納期品など、難しい仕事をこなすことで生き残ってきた。

仕事の9割が岡山県内向けで、建築金物は現地での施工もこなす。建物の新設があると一気に仕事が増え、ない時は全く仕事がないのが建築金物。このため近年では対策として、需要が見込める商業施設などの看板サインの仕事を強化中。工期やコストが読みにくい現地施工がないのも看板の利点だという。



岡山市東区の本社

事業内容

「我慢して使ってきた」旧型タレパン、刷新へ

建築金物のような板金加工にとって、金属板を任意の形状に切り抜く工程は不可欠。最近ではレーザー加工機も使われるようになってきたが、金型で打ち抜くタレパンは今もよく使われている。モストが使っていたタレパンは30年前に作られた旧型機で、金型で抜いた抜きカスが、使う部材の上に乗かって傷を付ける「カス上がり」や、丸穴などを連続的に打って線状に打ち抜く「ニブリング」で生じる痕跡などが問題になっていた。加工するための数値制御（NC）データも紙テープで入力する旧方式。一度に入力できるデータ量も少なく、加工データを半分に分けて入力するなど「我慢して古い機械を使っていた」（山本社長）という。



外壁金物を納入した、山陽新聞グループの早島印刷センター（岡山県早島町）

事業成果

ネットワーク接続した新型機で直角曲げも容易に

そこで選定・導入したのはアマダのコンピューター数値制御（CNC）タレパン「EMK-3612 MII」。金型の上部からエアを吹き出して抜きカスを下に落とすことでカス上がりはなくなった。ニブリングもより細かいピッチで穴を開けて送ることができるため痕も生じなくなった。

加工データは紙テープによる入力から、ネットワークで接続したパソコンからCADデータを直接送信する方式に変更。機械に搭載するメモリーの容量は従来機の3倍に増えた。また、V型の断面をした「V溝」の加工が可能になったため、より精度よく板を直角に折り曲げることができる。山本英樹社長は「加工スピードは速く、作業範囲も大きい」と満足げに話す。



導入したアマダの最新鋭タレットパンチプレス

ワンポイント

地域で役立つ建築金物業者に

板金機械を一通りそろえるには1億円はかかるとされる。タレパン以外にプレスブレーキやシャーリングマシンと合計3回、補助金を利用して設備を導入した会社にとって、ものづくり補助金は頼もしい存在。ただ、普及が進むレーザー加工機については補助金に頼らず、インターネットで中古機を購入しており、知恵を絞って設備をそろえてきた。「たくさん稼いでいい車に乗るよりは、地元岡山で役に立てる会社になりたい」（山本社長）。



代表取締役

やまもと ひでき

山本 英樹さん

▶▶▶ 会社概要 company profile

設立	1996年	所在地	岡山県岡山市東区金田531-1
資本金	1000万円	TEL	086-948-5666
代表取締役	山本 英樹	FAX	086-948-5667
従業員数	20人（パート含む）	URL	https://www.kkmost.com
売上高	非公表		